

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	加古川市民センター移転準備事業	部局名	市民部
		課(室)名	加古川市民センター

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成28年度 ～ 平成28年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	J Aビルは築44年が経過し、施設の老朽化対策、耐震化、駐車場環境の改善等の対応策が必要となっており、早期に対策を講じていく必要があった。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民センターを安全かつ快適に利用できる状態にする。
対象 ※誰、何に対して	市民センター利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	J Aビルからニッケパークタウン内に移転する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	26,743 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	26,743 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	17 市民センター費
細目	035 加古川市民センター移転準備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	26,743 千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	加古川市民センター移転準備事業	部局名	市民部
		課(室)名	加古川市民センター

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市人口(10/1付推計人口)	人	266,443		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市民センター業務取扱件数	件	117,353		
活動指標分析結果	移転後も概ね予想された件数であった。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
加古川市民センター業務取扱件数	件	117,353				
成果指標分析結果	移転後も概ね予想された件数であった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	駅前広場等維持管理事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路法第24条の2に基づき駐車料金を徴収する自動車駐車場に関する条例

【事業概要】

現状と課題	駅周辺利用者の通行の安全を確保するよう、速やかな修繕による維持管理を実施しているが、経年による修繕が年々増加している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	駅周辺利用者の通行の安全を確保する。
対象 ※誰、何に対して	J R 加古川駅前南北広場及び自由通路・J R 東加古川駅前南北広場及び自由通路・J R 厄神駅前南北広場及び自由通路・J R 宝殿駅前南北広場及び自由通路等
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	J R 沿線の主要駅の駅前広場を維持管理し、速やかな修繕を行なう。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	50,669 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	6,100 千円
	その他特財	6,211 千円
	一般財源	38,358 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	02 道路橋梁維持費
細目	025 駅前広場等維持管理事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	50,669 千円	45,745 千円	43,534 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	主要駅駅前広場等を、利用者の通行の安全と市の玄関口として快適な空間に保つために、本事業を継続する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	駅前広場等維持管理事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	放置自転車指導撤去返還事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成18年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	道路法、(通称)自転車法、加古川市自転車等の放置の防止に関する条例

【事業概要】

現状と課題	加古川市自転車等の放置の防止に関する条例の施行と併せて、放置自転車指導撤去返還事業により、自転車等放置禁止区域を指定し、原則として即日撤去を実施することで歩行者等の通行の安全の確保と防災活動の円滑化が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	放置自転車対策を進めることにより、駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能の確保を図り、美しいまちなみの保全を図る。
対象 ※誰、何に対して	交通手段として自転車を使用する市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	各鉄道駅周辺に有料及び無料駐輪場を整備し、自転車の放置に対する指導啓発及び条例に基づく放置自転車の撤去、移送等による駐輪マナーの向上を図るとともに、駐輪場の確保、維持管理を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	51,313 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,532 千円
	一般財源	48,781 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	02 道路橋梁費
目	01 道路橋梁総務費
細目	010 自転車対策事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	51,313 千円	52,720 千円	52,004 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 事業のPR等で市民に浸透してきている。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	放置自転車指導撤去返還事業	部局名	建設部
		課(室)名	土木総務課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市内の自転車防犯登録台数	台	18,010	18,604	22,647

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
放置自転車等撤去台数	台	1,968	1,929	2,583
有料駐輪場利用率	%	69.6	66.8	67.9
活動指標分析結果	鉄道駅における有料・無料駐輪場について、必要台数の確保は十分に図られている。27年度に撤去台数が2000台を割り込んだが今後更なる、放置自転車の台数は減少を目指す必要がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
自転車等放置禁止区域内の放置自転車に関する苦情件数	件	10	21	50	平成32年度	0
成果指標分析結果	駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能確保を図るため放置自転車の撤去を実施することで、美しいまちなみの保全が図られ、市民からの放置自転車に対する苦情も減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	都市改造事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	～ 平成28年度
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成28年4月の機構改革により交通政策課で所管している駐車場等の管理に要する一般的経費について、平成29年度から「駅周辺施設維持管理に要する一般的経費」として予算計上する。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	事業を円滑に遂行する。
対象 ※誰、何に対して	都市改造事業（JR加古川線厄神駅周辺整備事業）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	関係機関・事業者等の調整や協議を行うとともに、事業に係る事務を執り行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	65 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	65 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	020 駅周辺施設維持管理に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	65 千円	186 千円	116 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	平成29年度からは「駅周辺施設維持管理に要する一般的経費」に統合

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	都市改造事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成24年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	徐々にではあるが整理場の利用者は増加しており、駅北ロータリーの混雑緩和を図ることができている。路側帯に停車し乗客を乗降させていたツアーバスなどは、加古川B.Pへのアクセスに便利な本施設を利用する車両が増え、安全性の向上が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川駅北ロータリーの混雑解消を図るため。
対象 ※誰、何に対して	加古川駅北ロータリーの利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川駅北ロータリーに隣接する31街区に自動車整理場を設置し、管理している。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	8,131 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,838 千円
	一般財源	5,293 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	011 加古川駅等周辺整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	8,131 千円	8,685 千円	9,066 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	整理場の適切な維持管理が行われている。また、平成29年度より利用料金の上限設定を行い、利便性の向上を図っている。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
利用数	台	174,137	139,844	

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
開場日数	日	365	366	
活動指標分析結果	平成24年5月14日より供用を開始し、終日開業している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
1日当たりの整理場利用台数	台	477	382	296	平成28年度	450
成果指標分析結果	1日当たり約477台の利用があり、徐々に利用者が増加しており、駅北ロータリーの混雑緩和を図ることができている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	新在家歩道橋維持管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成23年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	平岡地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	エレベーターの設置により、移動の利便性及び安全性の向上が図られている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	エレベーターの各機能を常時適正に発揮させ、安全かつ良好な運転状況を維持するため。
対象 ※誰、何に対して	バイパス以北の住民。通勤通学等によるエレベーター施設利用者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	国道2号加古川バイパスの新在家歩道橋に設置されたエレベーターについて、国土交通省から委託を受け、市が維持管理を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	4,968 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	4,968 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	011 加古川駅等周辺整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	4,968 千円	5,238 千円	5,357 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>エレベーターの適切な維持管理が行われている。JR東加古川駅と総合文化センターや加古川警察署等をつなぐ特定経路において、本エレベーターが果たす役割は大きく、引き続き適正な管理に努めていきたい。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	新在家歩道橋維持管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	神野駅南駅舎等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	その他
関連根拠法令等	神野駅の保守管理及び管理運営に関する協定書

【事業概要】

現状と課題	平成16年にJR加古川線が電化したことに伴い、同線の利用促進を図るべく、沿線各市の駅舎が更新された。本市では、地元住民から神野駅北口開設の要望が提出されたことを受けて、平成22年度に神野駅南北駅舎の更新を図り、JRと協議の結果、南駅舎は本市の管理となった。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	市民が安全かつ清潔に駅舎を利用できる環境を維持することにより、公共交通利用者を確保し、神野駅の都市拠点機能を高め、加古川線の利用促進も図る。
対象 ※誰、何に対して	神野駅周辺(神野町・平荘町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	神野駅南駅舎及び南広場等の清掃と目視点検による施設の維持管理を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	532千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	532千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	035 総合交通政策事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	532千円	532千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	神野駅南駅舎の清掃を実施し、安全かつ清潔に利用できる環境を維持することで、神野駅利用者の確保に寄与している。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	神野駅南駅舎等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成14年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川西地区
関連根拠法令等	宝殿駅南駐車場の設置及び管理に関する要綱

【事業概要】

現状と課題	宝殿駅南再開発事業を実施するまでの暫定的な措置として、平成14年度に駅南広場へ駐車場を整備し、管理運営を継続している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	宝殿駅の利便性を向上させるとともに、駅前広場内の渋滞緩和を図る。
対象 ※誰、何に対して	車で移動をしている宝殿駅及び駅周辺施設等利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	宝殿駅南に駐車場を設置、運営するとともに、維持管理を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	3,276 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	3,276 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	040 宝殿駅附近都市整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	3,276 千円	2,722 千円	2,892 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駐車場の適切な維持管理が行われている。本駐車場は、月平均1,000台以上の利用があり、駅及び周辺施設利用者が気軽に利用できる駐車場として定着しており、再開発事業が実施されるまでは継続していきたい。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
宝殿駅の利用者数	千人	7,273	7,482	

【事業実績】

活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
駐車場収容台数(時間)	台	20	20	20
活動指標分析結果	20台の駐車枠を確保している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
1日平均駐車台数(時間)	台	37	36	37	平成28年度	35
成果指標分析結果	1日当たり約37台の利用があり、宝殿駅の利便性向上に寄与している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成13年度 ～ 永年
事業区分	②施設維持補修事業
地区別	加古川北地区
関連根拠法令等	加古川市厄神自動車駐車場の設置及び管理に関する条例及び同施行規則

【事業概要】

現状と課題	平成17年頃に厄神駅西に民間駐車場が完成したことなどにより、厄神駅北駐車場の利用は平成21年度から減少に転じた。このため、パークアンドライド駐車場として利用しやすいよう、平成25年4月から時間貸し料金と駐車台数の内訳（定期80台+時間25台）の見直しを行った。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進、都心部への車流入の抑制、大気汚染の軽減を図る。
対象 ※誰、何に対して	厄神駅の利用者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	駐車場の設置、運営するとともに、維持管理を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	6,332 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	6,332 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	030 厄神駅周辺整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	6,332 千円	5,365 千円	5,598 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	駐車場の適切な維持管理が行われている。本駐車場は、JR加古川線の利用促進を図るためのパークアンドライド駐車場として整備しており、地域住民に対し利用啓発・周知を行い、さらなる利用促進に努めていきたい。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
厄神駅の利用者数	千人	655	668	666

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
駐車場収容台数(定期)	台	80	80	80
駐車場収容台数(時間)	台	25	25	25
活動指標分析結果	定期駐車と時間貸し駐車のを割合を適正に配分している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
月平均駐車台数(定期)	台	70.7	75.6	74.8	平成28年度	75
1日平均駐車台数(時間)	台	16.5	16.4	16.3	平成28年度	15
成果指標分析結果	定期駐車が、月平均約71台、時間貸し駐車が、1日平均約17台、月平均約500台の利用となっており、パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進に寄与している。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅等周辺整備事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川駅等周辺整備事業を円滑に行うため、必要となる一般的経費を計上し、執行している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	事業を円滑に遂行するため。
対象 ※誰、何に対して	加古川駅等周辺整備事業
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	関係機関との調整や協議を行うとともに事業に係る事務を執り行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	635 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	504 千円
	一般財源	131 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	010 加古川駅等周辺整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	635 千円	1,352 千円	1,024 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業に係る事務を適切に実施している。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅等周辺整備事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	中心市街地整備事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成23年度 ～ 永年
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	中心市街地整備事業を円滑に行うため必要となる一般的経費を計上し執行している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	事業を円滑に遂行する。
対象 ※誰、何に対して	中心市街地整備事業
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	事業に係る関係機関・事業者等の調整や協議を行うとともに、事業に係る事務を執り行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	235 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	235 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	005 中心市街地整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	235 千円	305 千円	313 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業に係る事務を適切に実施している。

事務事業名	中心市街地整備事業に要する一般的経費	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	都市改造事業に要する一般的経費（市街地整備課）	部局名	都市計画部
		課（室）名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	～ 平成31年度
事業区分	①一般事務経費事業
地区別	両荘地区
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	厄神駅へのアクセス改善の為、道路拡幅等の整備が必要である。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	事業を円滑に遂行するため。
対象 ※誰、何に対して	都市改造事業（JR加古川線厄神駅等周辺整備事業）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	関係機関との調整や協議を行うとともに、事業に係る事務を執り行う。

【コスト】

	平成28年度（決算見込）	
事業費合計	150 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	133 千円
	一般財源	17 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	021 都市改造事業に要する一般的経費

【コスト推移】

	平成28年度（決算見込）	平成27年度（決算）	平成26年度（決算）
事業費合計	150 千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	事業に係る事務を適切に実施している。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	都市改造事業に要する一般的経費（市街地整備課）	部局名	都市計画部
		課（室）名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成5年度 ～ 平成33年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	土地区画整理法、東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行に関する条例

【事業概要】

現状と課題	都市計画道路・駅北広場が整備され通行車両及び駅利用者の利便性が向上した。仮換地が整備済のところは、全ての宅地が都市計画道路・区画道路に接し家屋の新築が進んでいる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	都市機能(生活環境・利便性・防災性)の充実を図ることにより、健全な市街地を形成する。都市計画道路・駅北広場・区画道路が整備されることにより、交通の利便性及び安全性の向上に繋がる。また、道路・公園が整備されることにより、居住環境及び防災性の向上が見込まれる。
対象 ※誰、何に対して	・東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行区域内の関係権利者。・加古川駅利用者、南北東西交通幹線道路の利用者など都心へのアクセスを目的とする車両等。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	土地区画整理事業計画に基づき、整備計画を立て進捗を図る。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	26,063 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	26,063 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	010 加古川駅等周辺整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	26,063 千円	147,621 千円	168,855 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	成果指標上は、ほぼ目標を達成しているが、事業完了には未だ数年を要すると思われる。残工事の早期完了に向け、権利者との交渉、関係者との協議が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
都市計画道路	m	0	130	61
区画道路	m	0	390	100

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
物件移転補償	件	0	1	3
道路築造工事	m	0	520	161
活動指標分析結果	平成28年度は、活動指標としている物件移転補償、道路築造工事の予定がなかった。代わりに、駅北第3、第4公園の整地工事および溝之口線歩道の点字ブロック設置工事を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
物件移転率	%	99	99	99.3	平成33年度	100
道路整備率	%	99	99	93.4	平成33年度	100
成果指標分析結果	平成28年度は、活動指標としている物件移転補償、道路築造工事の執行がなかった。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	中心市街地整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成23年度 ～ 平成28年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	加古川地区
関連根拠法令等	都市計画法、密集市街地整備法、加古川市住宅市街地総合整備事業補助金交付要綱

【事業概要】

現状と課題	寺家町周辺地区は古くから商業の集積地として機能してきたが、接道条件の悪さや権利の複雑さなどから個別の建物更新が困難となり、老朽建築物が密集している。このため災害時における安全な避難空間の確保および消防活動や火災時の延焼遮断機能の確保が図れないなどの課題を抱えている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	住民主体による防災街区整備事業を推進し、加古川駅南西地区における防災に関する機能の確保と土地の合理的かつ健全な利用を図り、都心にふさわしい賑わいと住環境の創出を図る。
対象 ※誰、何に対して	寺家町周辺地区(面積約0.8ha、加古川町篠原町および寺家町の一部)の権利者と居住者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	住民および権利者等で構成する加古川市寺家町周辺地区まちづくり準備組合(認可後は事業組合)が施行する防災街区整備事業について、調査設計計画および土地整備、共同施設整備、地区公共施設等整備などに必要な経費の一部について補助金の交付および技術的支援を行う。なお、平成28年7月に工事が完了する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	503,194千円	
財源内訳	国庫支出金	278,233千円
	県支出金	千円
	地方債	199,600千円
	その他特財	千円
	一般財源	25,361千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	005 中心市街地整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	503,194千円	812,535千円	692,699千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>寺家町周辺地区防災街区整備事業は、地区内権利者の都市計画提案に基づき本市が都市計画決定している。また、本事業により防災道路と共同住宅が整備され、災害時における避難空間や消防活動区域の確保、延焼防止効果の向上、さらには都心居住の促進と中心市街地の賑わいの創出が期待できる。事業進捗も順調に実施されており、分譲住宅の販売率では目標を大きく上回った。引き続き事業組合の施行による円滑な事業の推進を市として支援・指導することが妥当である。また、H28年7月には予定通り防災建築物が完成し、H29年3月に事業組合が解散認可を受けた。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	中心市街地整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
地区内の居住者数	人	296	0	0
防災街区整備事業の対象面積	h a	0.8	0.8	0.8

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
準備組合(事業組合)の会議開催数	回/年	19	22	24
準備組合(事業組合)への補助金交付額	千円	503,194	812,535	692,699
活動指標分析結果	平成28年度は事業組合理事会を14回(第56回~第69回)と、通常総会1回、臨時総会3回、解散総会1回を開催した。市は、新築工事の一部について、補助金の執行を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
防災街区整備事業の施設整備の進捗率	%	100	76.5	44.6	平成28年度	100
分譲住宅の販売率	%	100	100	8	平成28年度	100
成果指標分析結果	建築工事が順調に進捗し、平成28年7月末に予定通り工事が完了した。また、平成29年3月に予定通り事業組合が解散認可を受けた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅周辺道路整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する
施策	03 都市拠点の機能を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 平成31年度
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	道路法

【事業概要】

現状と課題	J R 厄神駅へのアクセスの改善のため、平成23年度から、道路整備事業に着手している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	J R 厄神駅へのアクセスの改善を行い、同駅の利便性の向上と J R 加古川線の利用促進を図る。
対象 ※誰、何に対して	厄神駅周辺(八幡町・上荘町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	J R 厄神駅への主要アクセス道路の整備工事を行う。なお、平成27年度は国包37号線の一部区間について道路整備を行った。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	10,306 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	9,200 千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,106 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	03 都市改造費
細目	031 厄神駅周辺整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	10,306 千円	19,047 千円	1,123 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	J R 厄神駅へのアクセスの改善をめざし、アクセス道路拡幅用地の買収を順次行い、事業を計画的に進めている。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅周辺道路整備事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	市街地整備課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
厄神駅周辺（八幡町・上荘町）の住民	人	9,918	10,013	9,969

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m	149	149	0
活動指標分析結果	平成28年度は下村3号線の道路拡幅用地を買収した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
事業進捗率	%	19.5	19.5	12.6	平成31年度	100
厄神駅の利用者数	千人・年	666	666	668	平成32年度	666
成果指標分析結果	平成28年度に買収予定であった29筆（1130㎡）中18筆（705㎡）の用地を買収した。厄神駅の利用者は、平成20年度の三木鉄道廃止後、ほぼ横ばいで推移している。					